

長瀬中学校区 小中一貫通信

令和2年 7月20日
No.1

長瀬中学校区の目指す子ども像 「たくましく 生きる」

みなさん、2019年4月より東大阪小中一貫教育が実施されているのをご存知でしょうか。なぜ小中一貫教育が行われるのかを今号ではお伝えします。

小中一貫教育の目的は、小学校と中学校の義務教育9年間を連続・一貫したものと捉え、学校運営の一貫性、統一性を意識することになります。それにより、学校文化の違いにより子どもたちが感じていた「とまどい」や「つまずき」をやわらげ、9年間の学びに連続性をもたせ、生きる力の育成をめざします。

(東大阪市のホームページより)

昨年度、長瀬中ブロックでは「6年生の中学校登校」「小6と中3・小5と中1・小4と中2の交流」「6年生の一部教科担任制」「5・6年生の定期テスト実施」を行ってきました。

中学校登校では、「中学校教師による全9教科授業体験」「クラブ体験」「自分たちだけの登下校」「定期テスト」などを体験しました。中学校登校の様子を見ていると、登校する子どもたちの様子は、回数を重ねるごとに緊張感がやわらぎ、とても自然な感じで登校することができていました。また、授業の様子を見ていると、始めは緊張でなかなか挙がることなかった手が後半になる程たくさん挙がり、積極的に発言してくれる児童が増えてきました。子どもたちのアンケートからも「中学校への不安がなくなってきた」「クラブがとても楽しみ」など肯定的な意見がたくさんありました。また、合同研修や授業見学など教職員間交流も行いました。

小中一貫教育の取り組みを通して、小学校と中学校の段差を少しずつ解消し、9年間を見通した教育を進めることができました。

コロナウイルスの影響で昨年度同様の中学校登校はできませんが、今年できる小中一貫教育の取り組みを考え、子どもたちの未来のために9年間を見通した教育を進めたいと思います。

各校の小中一貫教育担当の職員の紹介をします。

長瀬中学校 岡田竜享	今年度も小中一貫教育コーディネーターを務めます岡田です。3校が一丸となり、保護者の方や地域のみなさんとの関わりを大切にしていきたいと思っています。子どもたちが楽しく過ごしやすい中学校区にしていくために、1年間よろしくお祈いします。
大蓮小学校 多田文彦	今年度、小中一貫教育担当を務めます多田(ただ)です。小・中学校の9年間の学びを意識し、子どもたちの学力の向上と、心や体の健やかな成長を目指し、3校で協力して取り組んでいきたいと思います。1年間よろしくお祈いします。
長瀬南小学校 絆谷篤史	今年度も小中一貫教育担当を務めます絆谷(くけや)です。子どもたちにとって学校が過ごしやすい場所になるように、3校が協力して取り組んでいきます。子どもたちの未来のために努力してまいります。1年間よろしくお祈いします。

「中学校登校の予定」

今年度は、9月以降に実施する予定です。4回程度実施の予定にはなっていますが、コロナウイルスの影響で、授業時数の確保が困難になっており、普段通りの行事の開催が難しくなっています。現在調整中で、決まり次第お知らせいたしますので、しばらくお待ちください。

また、登校時にはお弁当の用意などお祈いすることになると思いますが、ご協力よろしくお祈いいたします。



教育委員会より配布された小中一貫教育のパンフレットです。一度ご覧ください。